

一、事業主側

金社側ニ於テハ重役会議ニテ対策未ク決定セサル為メ下記ノ如ク爭議団代表ノ交渉ヲ回避シツ、アリ

二、爭議団側

爭議団本部ニテハ家庭訪問隊ヲシテ狩出ニ奔走セシメタル結果召集者漸次増加シ約八十名ヲ集ムルニ至レルカ加盟者中社民、大衆党ニ属スルモノハ本爭議カ徒ラニ崩潰党ノ党勢拡張ニ利シ会社ニ対シ積極的ニ交渉ヲ進メサルハ本未ク転倒スル戦術ナリトテ批難スルニ至リ益々統制ヲ奪ヒツ、アリ 且ツ前報ノ如ク指導者タリシ賀藤等ノ暴行事件ニ連座シ拘束セラシ一時意氣拳カラサルノ状況トナレリ 斯クテ爭議首脳部ニ於テハ転機第トシテ次記ノ如ク交渉セル天會社側ノ会見回避ニヨリ何等進展セザリキ

加盟者ノ生活ニ窮セル者ハ本月廿五日特別消費組合ヨリ白米ニ石ヲ贈ル

本部ニ対シ右援金トシテ貴部宛本部ヨリ百円外一七〇ニテ金三六五四六六銭ヲ揭示セリ

三、交渉状況

八月廿六日迄ニ特三十介隨爭議団代表トシテ賀藤外二十七八丸ノ内大川田中ヒル内本社ヲ訪問長谷川専務ニ面會ヲ求メタルモノ不在ニテ更ニ前沢秘書ニ会見方津江ニタルモノ又不在ト稱シ会見セサルタメ代表者等ノ其ノ不誠意ヲ鳴ラレ己ハナク引揚ケ本部ニ集合セル困難ニ報告シ引續訪問スベク述ベタリ

四、警察取締

川既報ノ如ク二十三日組合書記山田日出太郎ニ暴行傷害ヲ加ヘタル干係者トシテ、爭議団代表訪問部長賀藤当二十五年